

高瀬 かのる

たかせ
かのる

NET 国分寺・生活者ネットワーク
市議会議員



<https://takase@seikatsusha.me>



生活者ネットこくぶんじ No.163 中央版
2022.12.25 国分寺・生活者ネットワーク
〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16-103
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878
kokubunjij@seikatasha.net

高瀬かのる

プロフィール

■ 1961 大阪府松原市生まれ ■ 1978 国分寺市に転居 ■ 1980 晃華学園高等学校卒業 ■ 1984 東京音楽大学（音楽教育専攻）卒業（株）宮地楽器入社 ■ 1989 生活クラブ生協加入、生活クラブ生協国分寺支部委員長、多摩きた生活クラブ生協理事、国分寺市私立幼稚園連合父母の会役員、国分寺市立小・中学校PTA連合会研修委員 ■ 2005 デポー国分寺・フロアワーカーズメンバー ■ 2008 国分寺・生活者ネットワーク事務局長 野川流域連絡会委員 ■ 2011 国分寺市議会議員初当選 厚生委員会、ごみ対策特別委員会、議会運営委員会、国分寺市都市計画審議会 ■ 2015 建設環境委員会委員長 ■ 2016 国分寺市民防災推進委員会 ■ 2017 議会運営委員会副委員長 ■ 2018 議会改革検討委員会 ■ 2019 総務委員会副委員長 ■ 2021 建設環境委員会副委員長など歴任 ●趣味：音楽鑑賞、まち歩き ●新町2丁目在住

政治は生活をよくする道具です

コロナ禍やウクライナ侵攻、そして、物価や燃料費の高騰など、先の見通せない不安の中、暮らしへの影響は大きくなっています。

特にコロナ禍は、私たちの社会を大きく変え、貧困や差別などによる格差、「人」にかかわる仕事の重要性と処遇改善の必要性などが見えてきました。行政による支援が不可欠です。

一方、地域をみんなを元気にしようと、様々な市民の活動が始まっています。孤立しがちな弱い立場にある人たちが、緩やかにでも、どこかにつながっている社会こそが、いざという時にたすけあいの力を発揮し、地域の安心を高めると考えます。長く厳しいコロナ禍から暮らしや心の豊かさを実感できる社会へと希望をもって変えていきたい！そして、「子育て・介護をひとりにしない」まちの実現に向けて、私は4期目に挑戦します。

高瀬かのる

■国分寺・生活者ネットワーク高瀬かのるの活動を紹介します。

高瀬かのるさんを応援します

天笠啓祐 ジャーナリスト

コロナ禍はこれまでの東京都や国の政策が、いかに社会的に弱い立場にいる人たちに冷たかったかを浮き彫りにするとともに、生活者の立場に立った政策の必要性を鮮明にしました。他の政党にはない、女性の視座から生活者を第一に据える生活者ネットへの期待は大きなものがあります。



山田正彦 弁護士・元農林水産大臣



鏡 諭 淑徳大学教授

福嶋浩彦 元我孫子市長

鎌仲ひとみ 映像作家

三木由希子 情報クリアリングハウス

田中 優 環境活動家

鈴木礼子 社会福祉法人悠遊理事長

池田あつ子 元都議会議員

大西ゆき子 元都議会議員

山内れい子 前都議会議員

岩永やす代 都議会議員



実現しました!

- 「国分寺市グリーン購入ガイドライン」に具体的に、純石けん使用明示。公共施設にポスター掲示
- 生ごみ・たい肥事業の推進と廃食用油の回収（バイオディーゼル化）、せん定枝のたい肥化実現。生ごみの収集拠点拡充。家庭用生ごみ処理機への助成も継続中。
- 公共施設の自動販売機にペットボトルを使用しないことを提案。順次改善中。
- 「香り」の害から健康を守るため啓発を提案実施。
- 動植物調査の実施。
- ひとり親家庭のニーズ把握調査を実施
- 生活困窮者自立支援事業に任意事業の「家計改善支援」を導入
- 不登校児童・生徒対象の国分寺市教育支援センター「適応指導教室」の名称変更を提案、「トライルーム」に変更
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「地球温暖化防止行動計画（市域版）」の策定に向け基礎調査がスタート
- ヤングケアラーについての理解を深め、支援につなげるため、講演会や関係機関職員向けの研修・講座等を実施。
- 認知症の方を地域でサポートするための訓練を提案
- 恋ヶ窪用水路の調査と整備を提案
- 地域防災計画に女性の参画を位置づけ避難所運営マニュアルに女性、高齢者、障がい者の視点の整備を提案
- 樹木の伝染病「ナラ枯れ」対策と緑の確保に向け樹林地の適切な管理を提案
- 子どもたちの声をもとに公園整備を提案
- 農業振興施策として「こくベジ」の推進

親の介護や障がいのある子どものケア、配偶者間での老々介護やヤングケアラー、若者ケアラーなど、ケアといってもその状況はさまざまです。また、複数の人をケアする人も多くいます。

私は、これまで「家族だけでケアを抱えこまないで」と発信し、社会制度の充実を提案してきました。睡眠時間を削って、家事や他の家族の世話、仕事の時間を作っている人を多く見かけます。「家族だから自分がかんばろう」という気持ちはとてもよくわかりますが、ケアする人（ケアラー）自身の人生も大切です。

介護・介助の社会化をすすめていくために「ケアラー支援条例」の制定を提案します。最近ではヤングケアラーの存在が知られてきました。ケアラー自身が自分の未来を選び歩んでいけるように、「人生を自己決定できる、ゆとりがもてる」サポートが必要です。ケアする人の生活とケアされる人の幸せを同時にかなえる支援を広げていきます。

ケアする人もされる人も大切にされる国分寺に

介護者の現状や様々な問題について幾度となく議会で質問、支援の仕組みの必要性について提案しています。



ひとりにはしない 子育て介護

国分寺・生活者ネットワーク 高瀬かおるの提案

1. 子どもたちがのびのびと育つ国分寺

- ・産前産後の支援から子育てを孤立させない支援体制の充実
- ・貧困による教育格差をなくすためのサポート
- ・子どもの権利条例の制定

2. 高齢になっても障がいがあっても暮らしやすい国分寺

- ・24時間対応できる在宅介護・在宅医療のしくみを強化
- ・介護予防・生活支援を地域で機能させる
- ・認知症になっても安心して暮らせる地域づくり
- ・障がい者の就労支援、生活支援の充実
- ・介護する人の人生を応援するケアラー支援条例をつくる
- ・移動支援や買い物支援の充実
- ・住まいの確保が困難な人への相談と支援を充実

3. 一人ひとりが大切にされる国分寺

- ・多様性を認め合い、性別で差別されない社会へ
- ・憲法をまもり、地域から人権・平和を発信

4. 緑と水を守り安心できる環境の国分寺

- ・安心できる学校給食と無償化をめざす
- ・国分寺崖線、砂川用水など水と緑を守り、野川の国分寺部分の親水化整備実現
- ・ごみの発生抑制と再使用を推進し循環型社会へ
- ・「香害」や有害化学物質に関する周知
- ・脱原発！原発の再稼働に反対。省エネルギーと再生可能エネルギーをすすめる
- ・地球温暖化防止行動計画（市域版）・生物多様性地域戦略をつくる

5. 大事なことは市民が決める国分寺

- ・公共施設の整備は市民の意見を反映し使いやすいものに
- ・情報をわかりやすく公開し、政策決定過程に子どもや若者を含め幅広い市民参加を促進
- ・市の財政運営をチェックし、かゆいところに手の届く予算配分

生活者ネットワークは市民が立ち上げた政治団体です。毎年、市民の声を集めて政策をつくり、市や都に予算要望として提案しています。

ともに活動しています。



左から 岩永やす代（都議会議員）、松岡まり（市政政策担当）、小坂まさ代（市議会議員）、本人

みなさまのキャンパをお待ちしております

キャンパ編込先 郵便振替口座 00110-8-93991 国分寺・生活者ネットワーク